

ID No.	3015
研究課題名	新世界ザルの生物学的特性の解明
研究代表者	木曾 康郎 (山口大学・教授)
研究組織 受入教員 研究分担者	甲斐 知恵子 (東京大学医科学研究所・教授) 日下部 健 (山口大学・准教授) 鈴木 樹理 (京都大学・准教授) Sri Kantha Sachithanantham (岐阜大学・准教授) 吉澤 緑 (宇都宮大学・特任教授) 石田 貴文 (東京大学・准教授) 横田 伸一 (東京大学医科学研究所・助教)
研究報告 1. 生殖工学的解析 2016 年 9 月 21 日から 26 日まで、宇都宮大学特任教授の吉澤緑と大学院生西萌香、共同研究先のおち夢クリニック名古屋の胚培養士の渡辺真一と三浦恵が奄美病害動物研究施設に滞在し、リスザルの卵胞内卵子、精巢上体尾部精子を用いて生殖工学実験を行った。 2. 行動学の解析 2016 年 9 月 12 日から 14 日まで、京都大学准教授・鈴木樹理と岐阜大准教授・スリカンタが奄美病害動物研究施設に滞在し、リスザルの行動学的特徴を明らかにするために、Actiwatch を装着し Activity counts (AC)、Total sleep time(TST)と Sleep episode length(SEL)を計測した。若齢個体と高齢個体を比較すると、高齢個体の方が AC が少なく TST がより長い傾向が認められた。しかし SEL は差が認められなかった。	